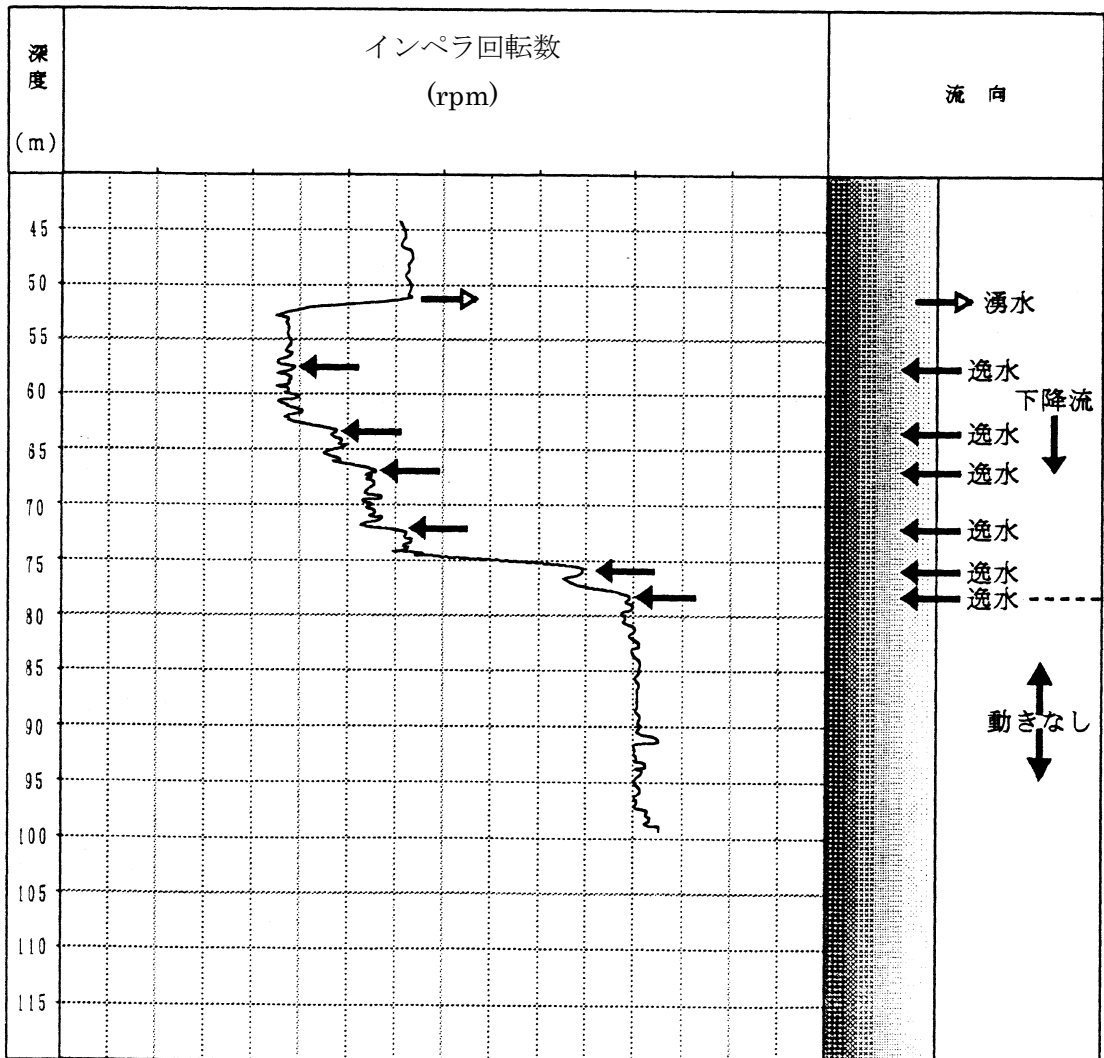




# スピナー検層



検層記録例

## スピナープローブの仕様／用途

測定種目	使用条件	用途
インペラの回転数 プローブの移動速度	最大深度：2,000m 適応孔径：75 mm以上 検層速度：0～10m／分 使用環境：125℃以下 裸孔・ケーシング孔 孔内水が必要	孔内水の流速の把握 湧水・逸水（漏水）箇所の特定 地下水・温泉貯留層の決定 ↓ 既存井戸のメンテナンス計画の立案

- ★ 流速の測定範囲は 2 cm～200 cm／秒。プローブを静止させることなく、微流速（孔内の上下流）を連続測定。静止測定もちろん OK。
- ★ 孔内水の流速の変化から、地下水・温泉水の流入／流出箇所を明瞭に捕捉。
- ★ 岩盤を清水掘削している場合、地層水の流動があればその位置を確実に捕捉。

既存井戸の多くは複数箇所に孔明管を挿入している。しかし、どの位置から地下水／温泉水が実際に湧出しているか？——これまでほとんど不明であった。

ここに紹介するスピナー検層では、周囲の地層との間で地下水／温泉水の出入りによって管内の水に流動が生じていると、インペラの回転数が即座に変わり、その位置を確実に捕らえることができる。なお、流動が生じていない井戸では、注水や揚水しながらフローメータ検層を行えばよい。

スピナー検層は、別に紹介する「電導度／温度検層」や「孔内テレビカメラ撮影」と併用すれば、水の動き及び孔内状況がさらに明確となり、最も効果的なメンテナンス計画が立てられる。



株式会社 ハギ・ボー

〒400-0845 甲府市上今井町 740-4

TEL 055-243-4777(代)

FAX 055-243-4722

[info@hagibor.co.jp](mailto:info@hagibor.co.jp)

<http://www.hagibor.co.jp>